

2026年(令和8年度) 医師の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

2026.4.1修正
 浜和会江別病院

1 全般

昨年同様に、医師は医師にしかできない仕事を行うということを基本として業務改善を行う。そのためには、看護師を中心とした現在のシステムを進化させ、医師以外の職員の負担にならないようシステムをスリム化し、医療DXを推進する。

2 第4木曜日に開催される運営会議に「勤務医・看護職員負担軽減検討委員会」を適宜併設する。

3 年度末に達成度を確認し、次年度4月計画に反映する。

4 2026年度計画

	項 目	現状・問題点	目標達成年次	具体的な取り組み内容
医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担の具体的な内容	・初診時の予診の実施	—	実施済み (今年度も継続)	・問診表の記載について看護師が患者を補助する形式で実施する。 ・クラーク配置による医師の診察時の準備を実施する。
	・静脈採血等の実施	臨床検査技師は検討	実施済み (今年度も継続)	・原則看護師が実施するとともに、臨床検査技師も実施を検討する。
	・入院の説明等の実施	—	実施済み (今年度も継続)	・外来看護師、患者サポートセンターが入院に関する説明を実施する。 ・アンケート等を確認し質の向上に取り組む。
	・検査手順の説明の実施	—	実施済み (今年度も継続)	・看護師、臨床検査技師が各検査に関する説明や問い合わせ対応を実施する。 レントゲン検査は診療放射線技師が、超音波検査は臨床検査技師が説明を実施する。
	・服薬指導	—	実施済み (今年度も継続)	・病棟での服薬指導、持参薬管理、病棟配置薬の薬剤管理を行う。 ・退院時薬学的管理指導を実施する。 ・がん化学療法レジメンの作成管理業を行う。 ・患者指導を実施し、投与量変更や副作用に対しての支持療法を積極的に医師に提案する。
医師の勤務体制にかかる取組	・断続的な宿直又は日直勤務体制	—	実施済み (今年度も継続)	・許可書に基づく基準に適合した適切な当直勤務とする。
	・時間外、休日・深夜の対応についての負担軽減、処遇改善	—	実施済み (今年度も継続)	・時間外、休日・深夜の対応について、時間管理を実施する。
	・予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮	—	実施済み (今年度も継続)	・予定手術前日の当直/夜勤の削減
	・当直翌日の業務内容に対する配慮	—	実施済み (今年度も継続)	・予定手術前日の当直/夜勤の削減
	・交替勤務制・複数主治医制の実施	複数主治医制は継続検討	実施済み (今年度も継続)	・他科への導入を継続検討する。
	・育児・介護休業法第23条第1項、同条第3項又は同法第24条の規定による措置を活用した短時間正規雇用医師の活用	—	実施済み (今年度も継続)	・育児短時間勤務の奨励、パート医師雇用の促進
その他の医師負担軽減策	・医療DXの推進	—	今年度より本格始動	病院DX推進チームによる検討を開始する。 2026 DX導入、運用、不具合抽出 2027 本格始動、定着化
	・外来診療時間の短縮、地域の他の保健医療機関との連携	—	実施済み (今年度も継続)	・他の保健医療機関との連携を通じた逆紹介率の促進 ・あらゆる機会をとらえた連携強化及び必要な医療DXを推進する。
	・院内保育所の設置	—	実施済み (今年度も継続)	夜間保育体制を充実し、医師、看護師、看護補助者の子供の受け入れも促進する。
	・医師事務作業補助者の配置による病院勤務医の事務作業の軽減	—	実施済み (今年度も継続) メディカルクラーク課(創設3.8.1)	20:1(現在25:1)を目指す。
	・看護補助者の配置による看護職員の負担軽減	—	実施済み (今年度も継続)	・看護補助者増員の促進 ・外国人雇用を維持する。